

少年よ、大木を抱け。

WOOD JOB!

ウツジョブ!

神去なあなあ日常

©2014「WOOD JOB! ~神去なあなあ日常~」製作委員会

と 三重大学演習林

～御神木が三重大学に来た!～

三重大学ミュージアム構想 特別企画

「自分たちは、顔も知らない曾じいさんあたりが植えた木を伐って稼いでいる。

いま植えている苗は、自分らが死んだ後に孫やひ孫が伐って生活の糧にするんだ」

映画でも使われた、ある林業家の台詞です。林業は、何世代にもわたる、長い長い時間が必要な仕事です。

三重大学生物資源学部では、その前身の三重高等農林学校以来、林業や森の生態の研究・教育を行ってきました。津市美杉町川上にある演習林は、林業家を育てる場となると共に、紀伊半島の昆虫や動植物の調査研究の中心地でした。

このたび、三浦しをん『神去なあなあ日常』を原作とする映画「WOOD JOB!～神去なあなあ日常～」の舞台として

津市美杉地区が取り上げられ、三重大学演習林も研修所として登場しました。

この展示を通して、映画「WOOD JOB!～神去なあなあ日常～」の楽しさを思い起こし、

同時に三重大学演習林の活動と、林業の現状と可能性を知って頂ければ幸いです。

期間 | 2014.11.10(月)～12.25(木) 平日10:00～16:00

会場 | レーモンドホール／環境・情報科学館 入場無料

後援：津市、WOOD JOB! 神去村青年団